

北海道浮魚ニュース

平成10(1998)年度13号 (通巻 No.34)

1998年9月2日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6221	Fax : 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5998	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-23-2126	Fax : 0162-23-2134
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

道南太平洋スルメイカ南下期調査結果

金星丸(函館水試調査船)により行われたスルメイカ調査結果をお知らせします。

調査期間：1998年8月24日～9月1日

調査海域：太平洋(津軽海峡～襟裳岬以西)

1. 表面水温は津軽海峡から下北沖では20～22℃台と前年(21～23℃台)より低めでしたが、渡島半島東岸と日高沖では20℃前後と前年(18℃前後)より高めでした。また、50m水温は津軽海峡から下北半島沖では15～16℃と前年(16～18℃)に比べ低めでしたが、胆振から日高沖では11～12℃台と前年(7～9℃台)に比べ3℃以上高い海域がありました。
2. CPUE*¹は、0.4～51.9尾の範囲にあり、渡島半島東岸ではかなり高い値でしたが、その他の海域では前年に比べかなり低い値でした(図)。また、試験操業点全体での平均CPUEは13.6尾であり、1996(H8)年並の値でした(表)。
3. スルメイカの試験操業点全体での外套長(胴長)の範囲は14～28cmでした。また、外套長モード*²は18～21cmであり、前年より2～3cmほど小型でした(表)。

(文責：函館水試資源管理部)

直通電話 0138-57-5997

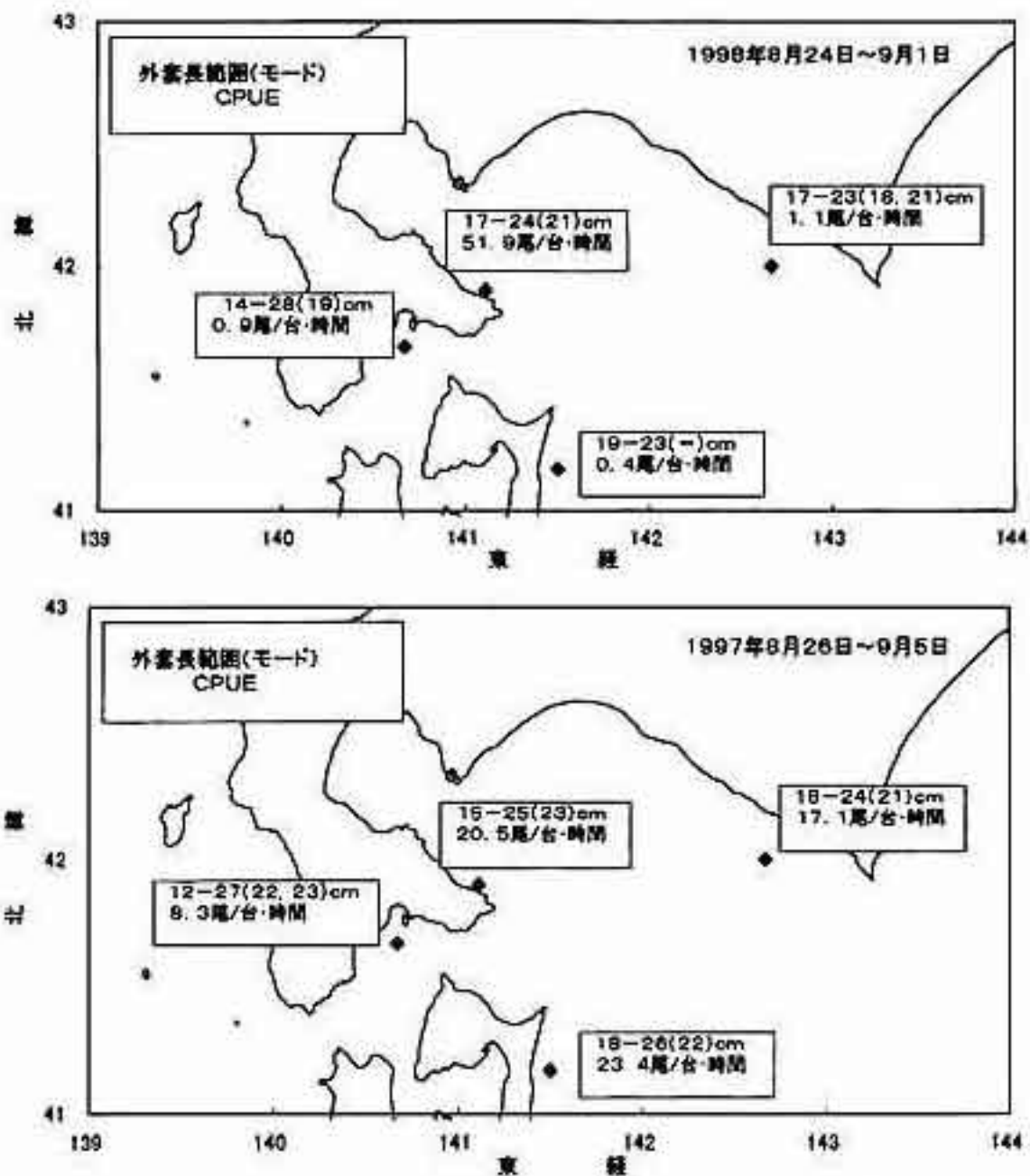


図 道南太平洋スルメイカ南下期調査結果(外巻長とCPUE) 上がH10年, 下がH9年

表 道南太平洋スルメイカ南下期調査時のCPUEと外巻長の経年変化

	1993(H5)	1994(H6)	1995(H7)	1996(H8)	1997(H9)	1998(H10)
4調査点の 平均CPUE(尾/台・時間)*1	12.7	3.8	5.1	13.9	17.3	13.8
外巻長の範囲(cm)	18-28	16-29	11-29	11-31	12-27	14-28
外巻長モードの範囲(cm)*2	20-22	22-27	22-24	21-23	21-23	18-21
海面水温(°C)	18.4-20.8	22.0-25.4	21.4-23.3	19.3-21.4	17.7-23.4	19.8-22.3
50m層水温(°C)	12.7-18.6	9.8-18.8	11.6-21.2	9.6-16.3	9.7-18.7	11.6-16.0

*1 CPUE: 自動イカ釣機1台1時間当たりの漁獲尾数。この値が大きいほどイカが多く分布している。

*2 外巻長モード: 漁獲されたスルメイカの平均的な外巻長(胴)の長さ。